

THE HOGAKU RONSHU

THE LAW REVIEW
OF
KANSAI UNIVERSITY

NOVEMBER 2019

VOLUME LXIX

NUMBER 4

Articles

Petitioner of stock pricing
in the conflicted two-step takeover (4).....*Yoshihiro ITO* (1)

Global South and Human Rights:
The Possibilities of “the Vernacular Theory
of Human Rights” (3).....*Mitsuhide KIMURA* (86)

Case Note

Restriction to Succeed Debt in the Event
of Corporate Split by Act in Good Faith.....*Hiroaki HARA* (131)

Translation

James Anaya, ‘Report of the Special Rapporteur
on the rights of indigenous peoples’ (A/68/317).....*Takeshi TSUNODA* (141)

Material

A Study of “Xiang Xing Yao Lan” (7).....*Haruhito SADATE* (1)

THE LAW SOCIETY OF KANSAI UNIVERSITY
OSAKA, JAPAN

ISSN 0437-648X

關西大學

法學論集

第69卷 第4号

令和元年11月

論 說

利益相反構造のある二段階買収における
株式価格決定申立権者の範囲 (4).....伊藤吉洋 (1)

グローバル・サウスと人権.....木村光豪 (86)
——「人権のヴァナキュラー理論」の可能性 (3・完)

判例研究

吸収分割による債務承継の信義則による制限.....原弘明 (131)

翻 訳

ジェイムズ・アナヤ
「国連・先住民族の権利に関する
特別報告者報告」(A/68/317).....角田猛之 (141)

資 料

呉訥撰・若山拯訓読『祥刑要覽』の訳注 (七).....佐立治人 (1)

關西大學
法学論集

第六十九卷
第四号

令和元年十一月

關西大學
法學會

關西大學法學會

執筆者紹介

伊藤吉洋	関西大学准教授
木村光豪	関西大学非常勤講師
原弘明	関西大学准教授
角田猛之	関西大学教授
佐立治人	関西大学教授

関西大学法学会役員（五十音順）

会 長 小 泉 良 幸	柄 谷 利 恵 子 川 合 昌 幸(会計)	下 村 正 明 白 須 真 理 子	藤 原 稔 弘(会計)
評 議 員 浅 野 宜 之(会計)	川 口 美 貴 河 村 厚(庶務)	高 作 正 博 多 治 川 卓 郎	松 尾 知 子(編集)
荒 木 修 栗 辻 悠(庶務)	木 下 智 史 木 原 淳	辰 巳 直 彦(庶務)	松 代 剛 枝
飯 島 暢(編集)	木 原 淳 金 玲	田 中 謙	水 野 吉 章
五十嵐元道	権 南 希(編集)	津 田 由 美 子	村 上 幸 隆
池田慎太郎	葛 原 力 三(監査)	角 田 猛 之	村 田 大 樹
石橋章市朗	久 保 宏 之	寺 川 永 穂	村 田 尚 紀(庶務)
市原靖久(編集)	隈 元 利 佳(編集)	寺 島 俊 穂	元 氏 成 保
伊藤吉洋	栗 田 隆	中 島 洋 樹	森 宏 司
今西康人(編集)	小 泉 良 幸	永 田 憲 史(会計)	森 田 崇 雄
上田真二	後 藤 元 伸	中 野 徹 也(編集)	森 本 哲 郎
浦東久男(会計)	小 西 秀 樹	中 村 哲	安 武 真 隆
占部洋之	近 藤 剛 史	中 村 知 里	大 和 正 史
大住洋	今 野 正 規	西 平 等	山 名 京 子(庶務)
大津留智恵子	酒 井 一(庶務)	西 澤 希 久 男	山 名 美 加
大仲土和	坂 本 治 也	西 村 枝 美	山 中 友 理
大沼邦博	佐 川 友 佳 子(編集)	西 山 真 司(庶務)	山 本 慶 介
岡本哲和	笹 本 幸 祐	原 弘 明(会計)	由 喜 門 眞 治(庶務)
尾島史賢	佐 立 治 人	馬 場 圭 太	横 田 直 和
梶原晶	佐 伯 和 也	早 川 徹	吉 田 栄 司
		廣 川 嘉 裕(会計)	吉 田 直 弘
		福 島 豪	吉 田 徳 夫
			若 月 剛 史
			若 松 陽 子

前号目次（第69巻第3号）

論 説

2019年4月大阪ダブル選挙の問題点……………	土 倉 莞 爾
ヒトに関する生殖医療、遺伝子治療および胚研究の法的規制……………	山 中 敬 一
——日独の刑法の観点から——（2・完）	
有名義破産債権の確定手続（1）……………	栗 田 隆
同性婚の未規定性の憲法適合性……………	西 村 枝 美
——婚姻の自由ではなく人格権の問題として——	
不動産に対する商人留置権の成否：最判平成29年12月14日を	
ふまえた抵当権者と留置権者との関係の再検討……………	原 弘 明
グローバル・サウスと人権……………	木 村 光 豪
——「人権のヴァナキュラー理論」の可能性（2）	

翻 訳

ジェイムズ・アナヤ	
「国連・先住民族の人権と基本的自由に関する	
特別報告者報告」(A/HRC/15/37)……………	角 田 猛 之
フランク・ザリガー	
「ドイツにおいて医師による死の看取りが処罰されるリスク」……………	飯 島 暢

資 料

施設見学記録（平成28年及び同29年分）……………	永 田 憲 史
強制動員被害に関する韓国大法院判決	
大法院2013다(가) 61381判決……………	権 南 希

関西大学法学会規則

- 第1条 本会は、関西大学法学会と称する。
- 第2条 本会は、法学の研究を促進し、かつ研究の成果を発表することを目的とする。
- 第3条 本会は、次の事業を行う。
- 1 機関誌「関西大学法学論集」及び「関西大学法学会誌」の発行。
 - 2 その他本会の目的を達成するために必要な事項。
- 第4条 本会は、大阪府吹田市山手町3-3-35に置く。
- 第5条 本会は、次の者をもって会員とする。
- 1 法学部及び大学院法務研究科（以下法科大学院と称す）の教授、准教授、助教、特別契約教授。
 - 2 政策創造学部教授、准教授、助教、特別契約教授であって入会した者。
 - 3 法学部、大学院法学研究科、法科大学院、政策創造学部またはガバナンス研究科の非常勤講師であって入会した者。
 - 4 法学部学生、大学院法学研究科学生及び法科大学院学生。
 - 5 政策創造学部の学生であって入会した者。
 - 6 法学部、政策創造学部、大学院法学研究科及び法科大学院の卒業生であって入会した者。
 - 7 その他評議員会の承認を得た者。
- 第6条 次の者を本会の名誉会員とする。
- 1 法学部又は法科大学院に在籍した名誉教授。ただし、特別契約教授として在職中の者は除く。
 - 2 特に評議員会の承認を得た者。
- 第7条 本会に次の役員を置く。
- 1 会長 法学部長をもって充てる。
 - 2 評議員 教授、准教授、助教及び特別契約教授をもって充てる。
 - 3 編集・庶務・会計各委員 評議員の中から評議員会において委嘱する。その任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。
- 第8条 第5条第1号及び2号の会員は会費年額12,000円を、同条第3号から7号までの会員は会費年額4,500円を納めることを要する。
- 第8条の2 会計年度は、毎年4月1日から3月31日までとする。
- 第9条 会員及び名誉会員は、機関誌「関西大学法学論集」及び「関西大学法学会誌」の配布を受ける。
- 第10条 この規則の改正は、評議員会の決議による。
- 付則 この改正規則は、2019年7月10日から施行する。

2019年11月11日 印刷 関西大学 第69巻
2019年11月18日 発行 法学論集 第4号

編 集 兼 関 西 大 学 法 学 会
発 行 人 振 替 00910-4-66882

印 刷 所 (株)富山房インターナショナル
東京都文京区千石2-25-11

発 行 所 関 西 大 学 法 学 会
大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
関西大学法学部内

